平成３０年度　光市青少年問題協議会会議結果報告書

１　会議の名称
　平成３０年度光市青少年問題協議会
２　開催日時
　平成３１年２月１２日（火）１８時～１９時３０分
３　開催場所
　光市教育委員会１階ホール
４　出席者
　光市青少年問題協議会委員１８名（２名欠席）
５　公開・一部非公開の別
　公開
６　会議の議事録（要旨）
（１）委嘱状交付
（２）会長代理あいさつ
　平素から、子どもたちの健全育成をはじめ市政各分野にわたって温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。昨年７月の豪雨災害では、島田川流域をはじめ市内各所において浸水や山腹崩壊など、甚大な被害が発生いたしました。改めて、被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。市は、発災直後から応急復旧、復旧に要する補正予算の計上、国への災害補助申請など、市役所を挙げての復旧作業に取り組んでまいりましたが、今もなお、膨大な被害個所があり、その復旧に全力を尽くしているところであります。そうした中、市民の皆様方をはじめ多くの方々に災害ボランティアとして被災地の復旧に大きなお力添えをいただきました。多くの中高生もボランティア活動に積極的に参加して、その活動には目を見張るものがあったと思っています。これも平素からの皆様方の活動が子どもたちへ浸透している証ではないかと思います。改めて、皆様方のご尽力に敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。
　さて、この協議会は、国の法律や市の条例等に基づいて私たちのまちの青少年の健全育成に関する総合的な施策についてご審議をいただくものです。現在、「児童生徒の地域貢献活動」をテーマに、特に、クリーン光大作戦を重点的な活動として、子どもたちが地域の方々とともに地域の良さを知り、地域を愛する心を持ち地域の担い手としての役割を認識できる活動体験等についてご協議をいただいています。皆様方の活動により、光市の子どもたちが自主性を発揮し、地域の担い手として地域に貢献できる大人へと成長していることは確かであります。
　どうか、私たち大人が、これからこのまちを背負ってくれる子どもたちが進む方向性や道標を示し、本市の子どもたち全てが「夢と希望にあふれ未来へ輝く『光っ子』」として成長していくことができますようご協力をよろしくお願い申し上げます。
（３）役員改選
（４）所管説明
　ア　光警察署
　　・少年非行の現状について
　イ　光市教育委員会
　　・児童生徒の問題行動等の諸問題に関する調査結果の概要について
（５）これまでの経緯
　（事務局）
　平成２８年度第１回の会議でキーワードを「自主性」、テーマを「児童生徒の地域貢献活動」、市内共通の「クリーン光大作戦」を重点とし、第２回の会議における浅江中学校区の事例発表では、「あさなえＪネット」の活動とともにクリーン光大作戦の取組みが紹介されました。その後、「青少年の健全育成」というクリーン光大作戦の目的の意識化に向けて、学校へは子どもたちの取組状況の報告を、また地域へは活動の写真をお願いしました。
　平成２９年度第１回の会議では光井中学校区の事例発表があり、クリーン光大作戦については、日記指導やアンケートなどを工夫した取組みがありました。第２回の会議では島田中学校区の事例発表があり、「島田川協育ネット」の取組みとともに、クリーン光大作戦については、新たに発足したＳＨＰ（島田パッピープロジェクト）による自主性を発揮した取組みへの方向が示されました。
　平成３０年度の「クリーン光大作戦」は豪雨災害のために中止になりましたが、中止決定より前の段階で、島田中学校では、ＳＨＰ（島田ハッピープロジェクト）での呼び掛けを行い、また、聖

光高等学校でもクリーン光大作戦の一環として生徒会による呼び掛けで有志による学校周辺地域のゴミ拾いなど、「自主性」が発揮された活動が新たに行われました。また、豪雨災害の後には、子どもたちの自主的な地域貢献活動も展開されました。

次に、市内の児童生徒の自主性を育む「地域貢献活動」の現状と今後に向けた課題について説明します。

【自主性を育む「地域貢献活動」の現状】

○室積中学校区：小中連携での地区清掃やゴミ拾い、室積海岸清掃、地区運動会のお手伝い、普賢祭り翌日の普賢寺周辺清掃等

○光井中学校区：小中合同での「MVP 活動」、太鼓クラブや鼓笛隊での活動、光井祭りのお手伝いや参画、ふれあいフェスタのお手伝い等

○浅江中学校区：潮音寺山に関わる活動、敬老と福祉の集いのお手伝い、早朝元気クラブのゴミ拾い活動等

○島田中学校区：小中合同での「ピカピカデイ」、島田川苑訪問、島田川周辺や駅の清掃、周防柱松、敬老会や祭りのお手伝い等

○大和中学校区：小中合同でのロードレース大会後の清掃活動、石城太鼓の活動、三輪行進の活動、ホタル観賞祭りへの参画、石城苑でのクリスマス会等

○附属光小・中学校：クリーン光大作戦の一環として直前の清掃活動、デイサービスセンターでの交流、弦楽合奏班の活動、幼稚園訪問や地区運動会でのボランティア活動等

【今後に向けた課題】

○共通する課題：「無理なく効果的に持続可能な方法の検討」、「地域のニーズと学校教育活動のマッチング」等

本日の協議では、各学校の状況とともに、これから発表していただく大和中学校区の地域貢献活動を含め、「今後に向けた課題」等へのご意見などをいただきたいと思っています。

（議長）

それでは、大和中学校の地域貢献活動について、発表をしていただきます。

（６）事例発表（大和中学校）【大和中学校区の地域貢献活動】

①大和中学校区の状況

小学校４校と中学校１校と３つのコミュニティセンター

②「大きな和の里」（大きな学びの共同体）構想

取組みの中核は大和地域小中連携教育推進協議会

③「めざす子ども像」の共有

小・中学校の教員、保護者・地域の代表に加え、当事者の中学生や高校生も参加して「めざす１５歳の大和っ子像」を作成。

「大和を愛し、未来にはばたく大和っ子」

・自分が好き、人が好き、大和が大好きな子ども

・感謝の気持ちを持ち、さわやかなあいさつができる子ども

・夢や希望を持ち、努力をおしまない子ども

④小・中学校の地域貢献の考え方

【小学校】

・活動の支援や多様な活動の実施 →地域に対する「感謝の気持ち」

・地域行事に親子で参加 →地域に「親しみ・愛着」、地域の「活性化」

【中学校】

・地域に対する「自信と誇り」

・地域の一員として地域への「恩返し」

【大和地域の具体的な取組】

・「地域を知る・誇りと自信」：石城山学習、伊藤公ドラマ、石城太鼓等

・「地域とともに」：中学校文化祭へコーラスグループ出演、合唱コンクールの審査・講評、認知症高齢者徘徊模擬訓練、地域合同防災訓練等

・「小・中学生ができる活動」：光ふるさと祭り・菊展示、大和中菊花展、大和ロードレース大会と大和SC・伊藤公記念館清掃活動等

・「ボランティア活動」：赤い羽根共同募金活動、石城苑クリスマス会、コミュニティセンター祭り等

⑤「クリーン光大作戦」

中学校では地区生徒会による全校体制での取組み。具体的には自治会担当生徒が自治会長に連絡を取り必要事項を確認して調査票にまとめ、７月の地区生徒会で地区ごとに配布し、当日の動きを確認して参加を促す。昨年度の参加率は、中学生が約８５％で小学生は保護者と一緒の活動で約８７％。

⑥全国学力・学習状況調査の質問紙調査の結果

・「地域の行事への参加」や「ボランティア活動への参加」の割合は全国平均よりも高い。

・「地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらった経験」や「地域や社会で起こっている出来事に関心がある」という生徒の割合は全国平均より少し低い。

⑦地域貢献活動の成果と課題

【成果】

・地域の方から褒められる機会の増加による生徒の自己肯定感・有用感の向上

・地域貢献活動を通して、地域を知ることで大和地域に愛着を感じる生徒の増加

【課題】

・無理なく効果的に持続可能な方法の検討

・活動につながる地域人材の発掘

・小・中学校と３つの地域の一体化した取組み

・学校主導から、生徒主体の活動へ

（議長）

ありがとうございました。先ほどの事務局からの説明資料や、ただ今の大和中学校のご発表から何かご意見やご感想がありましたらお願いします。

（委員）

すばらしい活動だと思いました。大和地域では子どもたちとお年寄りが楽しい時間を過ごしているように思いました。私は老人福祉施設に勤めているのですが、将来建て替えの際には地域共生・地域貢献のコーナーを設けて、地域のお年寄りなどが自由に出入りできるようなことに取り組んでみたいと思っています。大和中学校も空き教室があれば、何か考えてみるのも良いと思うのですが、どのような状況ですか。

（事例発表者）

大和中学校では少し大きめの部屋をＰＴＣＡルームにして、地域の方々が集まられた際に活用していただいています。

（議長）

最近は、子どもたちが積極的に地域に出て、いろいろな活動をしているように思います。皆さんもそのような様子を目にすることがあると思うのですが、いかがでしょうか。

（委員）

市内の小・中学校はコミュニティスクールとして指定を受け、特に、中学校は地域に出て、いろいろな活動をしています。地域の方から声を掛けられ褒めていただき、子どもたちの自己有用感や自己肯定感は高まってきていると思います。これは市内のどの学校もそうだと思います。そこで、学校現場として少し反省しなければいけないと思っていることは、学校内にも係活動などがあり、役割分担をして学校の活動に貢献していますが、教員が子どもたちを認め褒めているかということです。そういうことがあれば、CS が始まる以前から、学校の中で教員や友達から認めてもらうことによって自己肯定感や自己有用感を高めることができていたのではないかと今反省しています。学校内の係活動は、当たり前のこととしてやっていますが、「ご苦労さん」や「ありがとう」、あるいは、「〇〇さんがやってくれた」と紹介することで、さらに、自己肯定感や自己有用感が高まるのではないかと、反省を込めて思いました。

（議長）

ありがとうございました。今、学校でというお話でしたが、家庭内でも親子関係でそうした会話が少ないのではないかと思います。隣のおじさんやおばさんから「あなたの子どもさんがこういうことをやっていますよ」と良い話を聞いたときには、家庭内でも子どもに「隣のおばちゃんがこういうことで褒めていたよ」と話してあげることも大切なことではないかと思います。

（委員）

親の立場として、また、PTA 会長として、CS が始まって地域の連携はよくできてきていると思います。その中で、各地区にある親父の会などによるサポートもかなり進んできていますが、保護者であり現役で仕事をしている私たちの世代の方が学校の諸活動への参加や地域貢献などは、子どもたちよりも少し少ないように感じます。CS の活動の中で、今、一番の課題と思っているのは、地

域の方はよくお手伝いをされ、子どもたちも貢献しているのですが、保護者・PTA をどうやって CS の活動の中に取り込んでいくのかが課題だと思っています。私の地域は小学校１校と中学校１校で連携も深いのですが、大和中学校区のお話を聞いて、小学校４校と中学校１校の中で、いろいろな特色のある地域・学校が集まって一つの中学校区の子どもを９年間育てていこうと進められていることは非常にすばらしいと思いました。本市にはこうした４小１中と１小１中の中学校区があるので、それぞれの特徴を生かしながら活動していくことが大切になると思います。そこに、私たち親の世代がどのように CS 活動や地域貢献活動に入っていくかを考えなければいけません。子どもたちはとてもよくやっています。先ほどありましたようにもう少し会話・対話があると、さらにより良く子どもは育つのではないかと思います。

（議長）

所管事項の説明でもいろいろありましたが、子どもたちは多様性があってすばらしく、積極的な部分も目立ちますが、目に見えにくい部分でもがんばってやっているというのがこのまちの特長ではないかと思います。

（委員）

大和中学校の発表、ありがとうございました。改めて、子どもたちの地域貢献活動が広がってきていることが実感でき、大変嬉しく思いました。学校では、子どもたちの豊かな心を育むため、教育活動全体を通して道徳教育を進めています。大和中学校の紹介の中にもありましたが、中学校では新年度から道徳教育の要となる道徳の時間が新たに教科になります。小学校はすでに今年度から始まっています。この道徳科の評価のポイントは、「認めて褒め、励まし、勇気づける」と言われています。

また、心の教育でもう一つ大切なことは、体験です。地域の中で多くの人とふれ合いながら様々な体験をする。その中で、子どもたちは、認め、励まされることによって自信や意欲が生まれます。地域の一員としての自覚も高まってまいります。このような環境づくりを私たちはもっと大切にしていかなければならないと、改めて感じました。子どもたちの健全育成に携わっておられる各団体のバックアップを引き続きよろしくお願いいたします。

（議長）

今後の方向性について、事務局からお願いします。

（７）今後の方向性

（事務局）

今回の大和中学校の発表内容とともに、協議の中でのご意見やご感想等は各学校やコミュニティセンターへお伝えし、さらなる活動の充実への参考にしていただきたいと思います。

また、クリーン光大作戦については、クリーン光推進協議会を通して各地域の児童生徒のさらなる参加促進や活動の活性化に努めてまいりたいと思います。

なお、これまで４つの中学校区から事例発表をしていただき、それを踏まえてご意見をいただいてまいりました。今後、もう１つの中学校区の事例発表もお願いすれば、市内全地域の児童生徒の自主性を育む地域貢献活動について共通理解を図ることができます。そのうえで、全体を振り返りながら必要な協議を進め、新たな方向等について考えていきたいと思います。

（８）会長代理あいさつ

熱心なご協議をありがとうございました。ご協議を通して、本市の子どもたちが健全に育っていることを改めて感じました。子どもたちは自分たちが住んでいる地域を知り、地域の方々と接する中で大人が今何をしているのかを見ながら育っています。ということは、私たち大人がまず範を示すことが大切になると思いました。そして、皆様方には、「気付いたら放置しない」、これを念頭にこれからも地域の子どもたちを見守っていただければ幸いです。「児童生徒の地域貢献活動」の重点「クリーン光大作戦」につきましては、多くの方々が良き伝統を引き継ぎ、一人でも多くの方々の手によって自分たちが住むまちがより一層美しくなっていくことができるようご支援をお願い申し上げ、お礼のごあいさつといたします。

７　問い合わせ先

光市教育委員会青少年センター（０８３３－７２－２２４５）